

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	名城大学
設置者名	公立大学法人名城大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で 定 め る 基 準 単 位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
国際学群	国際学類	-	33		97	130	13	-
人間健康学部	スポーツ健康 学科	-		0	53	86	13	-
	看護学科	-		0	43	76	13	-
(備考) ・令和4年度前学期科目のみを計上している。 ・教育職員免許状取得に係る「教職に関する科目」は、計上していない								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

○実務経験のある教員等による授業科目の一覧表は、大学 HP⇒在学生の方へ⇒学内者専用サイト⇒教務・履修登録に関すること のページに掲載している。 https://www.meio-u.ac.jp/html/risyu
○シラバスの内容は、大学HP⇒在学生の方へ⇒UNIVERSAL PASSPORTE RX ⇒シラバスリンクで閲覧することができる。 https://mup.meio-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	(該当なし)
(困難である理由)	(該当なし)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表： 大学 HP⇒大学紹介⇒組織⇒役職員 https://www.meio-u.ac.jp/about/organization/position/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	名護市 副市長	令和2年11月1日～ 令和4年10月31日	組織運営体制への チェック
非常勤	金武町 町長	令和2年6月1日～ 令和4年5月31日	組織運営体制への チェック
非常勤	株式会社ゆがふホール ディングス代表取締役 社長	令和2年7月1日～ 令和4年6月30日	組織運営体制への チェック
(備考) ・令和4年5月1日現在			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>			
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では、「授業計画(シラバス)作成要領」と「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って、学期ごとに全科目の授業計画(シラバス)を作成し、公表している。</p> <p>授業計画(シラバス)には、「科目名(日本語)、科目名(英語)、単位数、開講予定学期、登録予定人数、担当教員名及びメールアドレス、教員研究室、オフィスアワー、授業の概要、到達目標、授業の計画と内容、テキスト・参考文献、準備学習、成績評価の方法、履修の条件」を記載している。</p> <p>また、授業計画(シラバス)は、学生の履修登録に支障のないよう、対象学期の履修登録が始まる前に本学ホームページで公表している。</p>			
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>授業計画(シラバス)は、大学HP⇒在学生の方へ⇒UNIVERSAL PASSPORT RX⇒シラバスリンクで公表しており、誰でも確認することができる。</p> <p>https://mup.meio-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml</p>		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>			
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では、各授業計画(シラバス)に記載された「成績評価の方法」に基づき厳格に成績の評価を行い、学則及び履修規程に定める「成績の評価基準」に則り適正に単位の授与を行っている。</p>			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【評価の方法の例】</p> <p>課題：●点 活動状況：●点 レポート：●点 期末試験：●点 合計：100点</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【成績の評価基準】</p> <p>秀：100～90点 優：89～80点 良：79～70点 可：69～60点 不可：59点以下</p> </td> </tr> </table>		<p>【評価の方法の例】</p> <p>課題：●点 活動状況：●点 レポート：●点 期末試験：●点 合計：100点</p>	<p>【成績の評価基準】</p> <p>秀：100～90点 優：89～80点 良：79～70点 可：69～60点 不可：59点以下</p>
<p>【評価の方法の例】</p> <p>課題：●点 活動状況：●点 レポート：●点 期末試験：●点 合計：100点</p>	<p>【成績の評価基準】</p> <p>秀：100～90点 優：89～80点 良：79～70点 可：69～60点 不可：59点以下</p>		
<p>学生の「学修意欲の把握」については、各授業計画(シラバス)において、「活動状況」等の項目で評価している。</p> <p>また、卒業論文の評価については、「名桜大学卒業研究ルーブリック」を策定し、全学共通の評価項目に基づく評価に取り組んでいる。(これに加え、今後は、学科等ごとのディプロマ・ポリシーとの関連性を高めるため、学士課程別の評価項目を設定することとしている。)</p>			

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【GPAの算出方法の具体的内容】</p> $\text{GPA} = \frac{\text{(履修科目単位数} \times \text{ポイント) の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$ <p style="text-align: right;">※算出には、0ポイントも含まれる。</p> <p>【成績評価に応じたポイント】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">90点～100点：4ポイント</td> <td style="width: 50%;">60点～69点：1ポイント</td> </tr> <tr> <td>80点～89点：3ポイント</td> <td>60点未満：0ポイント</td> </tr> <tr> <td>70点～79点：2ポイント</td> <td></td> </tr> </table> <p>各履修科目の成績評価に基づき、上記の算出方法により、適切にGPAを算出している。また、学業成績通知書へ個人のGPAを記載し、学生及び学生の保護者へ年2回通知を行い、成績評価の指標の一つであるGPAへの理解の浸透に努めている。</p> <p>成績の分布状況の把握については、現在、授業ごとに把握できる環境となっているが、「大学等における修学の支援に関する法律」の施行に伴い、学科等及び学年ごとの単位でGPAの分布を把握することとしている。</p>		90点～100点：4ポイント	60点～69点：1ポイント	80点～89点：3ポイント	60点未満：0ポイント	70点～79点：2ポイント	
90点～100点：4ポイント	60点～69点：1ポイント						
80点～89点：3ポイント	60点未満：0ポイント						
70点～79点：2ポイント							
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページで公表：HP⇒在学生の方⇒学内者専用サイト⇒教務・履修登録に関すること⇒成績評価基準およびGPAの算出方法 https://www.meio-u.ac.jp/html/files/gpa.pdf</p>						
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学的なディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 <p>(※学群・学科別のディプロマ・ポリシーは、様式第2号の4-①でそれぞれ記載)</p> <p>卒業の認定については、国際学群、人間健康学部ともに修業年限（4年）在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければならない。国際学群は124単位以上、人間健康学部スポーツ健康学科は124単位以上、人間健康学部看護学科は129単位以上である。</p> <p>卒業に必要な単位数を修得した学生の卒業認定は、国際学群教授会、人間健康学部教授会で審議し、適切に実施されている。学士の学位は卒業式に授与する。</p>							
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページで公表：HP⇒大学紹介⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒全学的三つのポリシー https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/university/</p>						

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表：HP⇒情報公開⇒財務状況⇒財務諸表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表：HP⇒情報公開⇒財務状況⇒財務諸表 https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/disclosure/information/
財産目録	該当しないため公表なし
事業報告書	ホームページで公表：HP⇒情報公開⇒財務状況⇒財務諸表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/
監事による監査報告(書)	ホームページで公表：HP⇒情報公開⇒財務状況⇒財務諸表 https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/information/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称： 令和4年度計画 対象年度： 令和4年度)
公表方法：ホームページで公表 HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒法人情報の公開⇒第3期中期目標・中期計画、年度計画 → https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/r4_nendokeikaku.pdf
中長期計画(名称： 第3期中期計画 対象年度： 令和4年度～令和9年度)
公表方法：ホームページで公表 HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒法人情報の公開⇒第二期中期目標・中期計画、年度計画 → https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/dai3_tyuukikeikaku_mokuhyou.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページで公表 HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒法人情報の公開⇒認証評価⇒点検評価ポートフォリオ2020年5月 → https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/2020-portfolio.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法：ホームページで公表 HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒法人情報の公開⇒認証評価 → https://www.meio-u.ac.jp/about/assets/2020-houkokusyo.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際学群 国際学類
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒教育目的・目標 → https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 地域の自然と文化及び歴史的、地理的、社会的背景を基礎に、グローバル化する国際情勢に対応して、学際的、理論的、実践的及び比較的研究を通じ、その応用を展開する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒国際学群 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/
（概要） 国際文化専攻／語学教育専攻 国際学群（国際文化専攻／語学教育専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（国際文化学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. 高度な言語運用能力と多文化理解力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力 経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻 国際学群（経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（経営情報学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に加え、優れた実践力 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力と組織運営力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力と自己検証力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現するとともに、調整し統合する力 5. 社会変化や科学技術の革新を数量的に分析し、評価する力 観光産業専攻 国際学群（観光産業専攻）は、以下の能力を身につけた学生に学士（観光産業学）の学位を授与します。 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展に貢献する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒国際学群 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/
（概要） 国際文化専攻／語学教育専攻 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4

- 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
- 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
- 3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
- 4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
- 5. 沖縄を含む国内外の諸地域における言語と文化の体系的学習を行い、知識を実践する機会として実習科目を配置する
- 6. 専門知識や技術を統合し、問題解決力と創造力を育成するため、卒業研究を実施し、丁寧な個別指導を行う

経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

- 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
- 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
- 3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
- 4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
- 5. 学生が自主的に計画・行動・検証・改善できる実習・演習を重視したカリキュラムを編成する

観光産業専攻

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

- 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する
- 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う
- 3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する
- 4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う
- 5. 地域社会や国際社会で観光産業の発展に貢献できる人材を育成するため、観光ビジネスや観光政策、環境・エコツーリズム、観光文化などの専門科目を設置する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒国際学群

→ <https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/international/>

（概要）

国際学群の教育目標を達成するために、本学群に入学を希望する人には以下のことを求めます。

- 1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること
- 2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること
- 3. 国際学群の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科（英語、数学、国語、理科、社会等）の内容をバランスよく修得していること

<p>学部等名 人間健康学部 スポーツ健康学科</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒教育目的・目標 → https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/</p>
<p>（概要）</p> <p>人間理解、健康理解を基礎として、食生活・栄養、運動・スポーツ、心理、社会福祉、保健・医療の幅広い視点に立った多角的角度から「スポーツと健康」を探求・究明する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部スポーツ健康学科 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/</p>
<p>（概要）</p> <p>スポーツ健康学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（スポーツ健康学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い倫理観を持ち、社会人として必要な幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見・設定し、批判的・論理的に思考・判断しつつ解決する力。また、その内容をわかりやすく表現する力 4. 多様な視点を尊重し、協働して問題を解決していくために必要なチームワークやリーダーシップ 5. 心身ともに健康に生きるため、自己の可能性を肯定的に考え、自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部スポーツ健康学科 →https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/</p>
<p>（概要）</p> <p>ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、教理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う 3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する 4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、3年次および4年次における卒業研究演習を必修科目と位置づけ、卒業論文等により最終評価を行う 5. スポーツおよび健康に関する専門基礎科目群を配置する。専門性を高めるため、2年次から「スポーツ領域」または「健康領域」を選択し、より探究的な専門科目群を配置する
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部スポーツ健康学科 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/sport/</p>
<p>（概要）</p> <p>スポーツ健康学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること 2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること 3. スポーツ健康学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科を全般的に修得していること。また、スポーツ健康科学に必要な保健および体育の内容について基礎的・基本的な知識および技能を身につけていることが望ましい 4. 健康を科学的視点から探究し、地域社会や国際社会において健康づくりを支援する意欲があること 5. スポーツ科学や健康科学に興味・関心があり、大学においても習慣的な運動や健康づくりの意欲があること

学部等名 人間健康学部 看護学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒教育目的・目標 → https://www.meio-u.ac.jp/about/aim/
（概要） 地域に根ざしたケアリング文化を発掘・継承・発展させ、人類の健康増進に務め且つ看護学のグローバルな発展に寄与することを目的に教育研究活動を推進する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部看護学科 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/
（概要） 看護学科は、以下の能力を身につけた学生に学士（看護学）の学位を授与します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性を兼ね備え、生命の尊厳と人権を尊重し擁護する力 2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力 3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力を身につけ、人々の健康と福祉に寄与する力 4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力 5. 看護を必要とする人を全人的に捉え、科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する力 6. 自律性と参画力を備え、関連する専門職者および地域と協働・連携する力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部看護学科 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/
（概要） ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する 2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う 3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する 4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う 5. 看護学の専門基礎教育科目および専門性を探求する専門教育科目を適切に配置する 6. 4年間を通して学生主体・参画型の少人数教育を実施し、「自己との対話」「他者との対話」「地域社会との対話」を通して自己教育力を育む 7. 専門的な知識・技術を統合し、看護の専門性を発展させる能力や態度を育む
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表）HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒三つのポリシー⇒国際学群・人間健康学部⇒人間健康学部看護学科 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/policy/college/nurse/
（概要） 看護学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること 2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で創造的に表現できること 3. 看護学科の特徴を正しく理解し、文系・理系に偏ることなく高等学校教育における基礎的な学力を身につけていること。なお、生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識を身につけておくことが望ましい

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表：HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒教育研究上の基本組織 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/org/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
国際学群	—	21人	23人	0人	0人	0人	44人
人間健康学部	—	15人	24人	0人	10人	4人	53人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			131人				131人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページで公表 HP⇒研究⇒研究者総覧・シーズ集 → https://www.meio-u.ac.jp/research/scholars/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員の教育研究活動を推進するために必要な能力開発に取り組んでいる。 令和4年度は、ハラスメント防止等に関する研修内容に加え、外部講師による講話等、教員の資質向上を目的としてFD研修会を定期的に（年3回程度）開催する予定である。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際学群	280人	296人	106%	1,150人	1,234人	107%	15人	12人
人間健康学部	175人	192人	110%	720人	775人	108%	10人	6人
合計	455人	488人	107%	1,870人	2,009人	107%	25人	18人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際学群	296人 (100%)	11人 (3.7%)	213人 (72.0%)	72人 (24.3%)
人間健康学部	179人 (100%)	15人 (8.4%)	141人 (78.8%)	23人 (12.8%)
合計	475人 (100%)	26人 (5.5%)	354人 (74.5%)	95人 (20.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
国際学群及び人間健康学部スポーツ健康学科では主な就職先に「情報通信産業」約15%、「教育・学習支援業」と「卸売業・小売業」が約11%の状況となっている。人間健康学部看護学科では「医療・福祉」への就職が大部分を占めている。				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
国際学群	310人 (100%)	228人 (74%)	63人 (20%)	19人 (6%)	0人 (0%)
人間健康学部	179人 (100%)	159人 (89%)	11人 (6%)	9人 (5%)	0人 (0%)
合計	489人 (100%)	387人 (79%)	74人 (15%)	28人 (6%)	0人 (0%)
(備考) ・2018年度入学生を対象としている。 ・編入生は含まず。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では、「授業計画（シラバス）作成要領」と「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って、学期ごとに全科目の授業計画（シラバス）を作成し、公表している。</p> <p>授業計画（シラバス）には、「科目名（日本語）、科目名（英語）、単位数、開講予定学期、登録予定人数、担当教員名及びメールアドレス、教員研究室、オフィスアワー、授業の概要、到達目標、授業の計画と内容、テキスト・参考文献、準備学習、成績評価の方法、履修の条件」を記載している。</p> <p>また、授業計画（シラバス）は、学生の履修登録に支障のないよう、対象学期の履修登録が始まる前に本学ホームページで公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>修業年限在籍（4年8セメスタ）し、定められた単位数を修得した者は、学長が卒業を認定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際学群	国際学類	124単位	有	1学期 20単位 年間 40単位
人間健康学部	スポーツ健康学科	124単位	有	1学期 20単位 年間 40単位
	看護学科	129単位	有	1学期 20単位 年間 40単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：公表方法：GPAは、奨学金支給、保健師コース受講、教育実習受講等の選考に活用されている。公表方法として、履修ガイド、教職のてびきへ記載し周知を図っている。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：公表方法：学生の学修状況や課外活動を含め、学生の動向は、大学の広報誌等で公表している。HP⇒大学紹介⇒広報紙「Meio」 → https://www.meio-u.ac.jp/about/public/meio/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表：HP⇒大学紹介⇒情報公開⇒教育情報の公表⇒教育研究環境 → https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/environment/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金		その他	備考 (任意記載事項)
国際学群	国際学類	535,800 円	(地域内)	125,000 円	円	
			(地域外)	250,000 円	円	
人間健康 学部	スポーツ健康 学科	535,800 円	(地域内)	125,000 円	円	
			(地域外)	250,000 円	円	
	看護学科	535,800 円	(地域内)	125,000 円	円	
			(地域外)	250,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p><リベラルアーツ機構></p> <p>本学では、豊かな感性と知性を持った円満な人格形成を目指す「名桜大学型リベラルアーツ教育」を推進し、多様化する学生のニーズに対応するリベラルアーツ教育プログラムの開発・運用および学習支援を図ることを目的としており、その目的を達成するため、学習支援を行う言語学習センター、数理解習センター、ライティングセンターを設置し運用している。</p> <p>→ https://www.meio-u.ac.jp/liberalarts/</p> <p><成績不振学生への対応></p> <p>国際学群では、年度中間の前期成績確定時に成績不振学生の指導教員に対し、面談を通して、状況確認、履修や大学生活へのアドバイス等の対応を行うよう依頼している。併せて、当該学生に対する後学期の指導・アドバイスについても依頼している。</p> <p>スポーツ健康学科では、前学期終了後、今後、卒業および進級が危うくなることが想定される学生の保護者に対して通知文を送付している。また、希望者に対して教育懇談会における面談、電話やメール等での相談を受け付けている。</p> <p>看護学科では、学年担当教員による複数回の面談において、学習スタイルの相談や時間管理の方法、今後の履修計画相談等を行っており、必要時には保護者の方とも面談をしている。個別面談により支援が必要な学生については、看護学科学生サポート委員会および教務委員会が連携し、学科内で共有して、全教員体制での支援を行っている。</p> <p>→ https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/support/study/result/</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリア支援課において、就職ガイダンス、学内企業説明会、検定試験、対策講座に取り組んでいる。また、沖縄県の「就活パワフルサポート事業」を活用し、専任コーディネーターを配置し、学生が進路選択に関する相談をしやすい環境を整えている。</p> <p>→ https://www.meio-u.ac.jp/career/</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>心身の健康相談窓口として、保健センター（保健室・相談室）、学生課、総務課を置い</p>

ている。保健センターには、看護師2名、心理カウンセラー2名、精神科医1名（月1回）を配置し、学生が相談しやすい環境を整えている。また、校医による定期的な健康指導も実施している。

→ <https://www.meio-u.ac.jp/campus/care/>

更に、障がいのある学生に関する支援等も行っている。

→ <https://www.meio-u.ac.jp/about/disclosure/education/support/challenged/>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 → <https://www.meio-u.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F147210111743
学校名	名桜大学
設置者名	公立大学法人名桜大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		391人	390人	417人
内 訳	第Ⅰ区分	233人	234人	
	第Ⅱ区分	90人	105人	
	第Ⅲ区分	68人	51人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				424人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	27人		
計	27人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	49人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	49人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。